



# チックシベツ

**教育目標**  
 たくましい身体の子  
 ねばり強く働く子ども  
 進んで学ぶ子ども  
 美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 9月2号（令和元年9月25日） 【発行責任者 上杉 晃弘】

## 学芸会に向けて

気温が低くなりすっかり秋めいてきました。学校では学芸会に向けて練習たけなわとなってきました。

今年度の学芸会のテーマは「心がよろこぶ学芸会～心を一つに笑顔あふれる学芸会～」です。二学期の始業式の日にも、子どもたちへ「去年の学芸会はとても素晴らしく今でもよく覚えています。熱心に練習していたからいい発表になったと思います。今年も楽しみにしています。」と話しました。その時点で既に劇の配役などが決まっている学年もあったようですが、始業式から今日まで少しずつ練習に熱を帯びてきています。校長室の前に音楽室、少し離れて体育館があるので、学芸会の練習の様子が手に取るように分かります。

学芸会の効果として、学級内や他の学年との協力する気持ちの高まりがあります。このことがその後の学習に良い影響を与えます。また、劇などで声をしっかりと出すことが出来た子が、その後授業での発表に自信を持って発言できるようになることも経験上あります。学芸会も楽しみにお待ちしておりますが、その後子どもたちにどのような良い影響があるかということについても関心を持っていただきたいと思っています。



## 修学旅行を終えて

9月5日（木）・6日（金）に修学旅行に引率として同行しました。

1日目は良い天気の中出発し、大倉山ジャンプ場を見学し、札幌での自主研修を行いました。自主研修は3名ずつの3グループに分かれ、引率者が1名ずつ付きそれぞれの計画に基づいて行われました。私が同行したグループは「けけ飯」というラーメン屋に直行し昼食を取った後、札幌市民防災センターの見学に向かいました。まず体験したのは「暴風体験」です。3

パターンある内の一番風の強いパターンを希望しました。目を開けているのもやっとという風を受けました。その次は消火体験、地震体験をしました。地震体験は「3・11東日本大震災」の揺れを体験しました。様々な災害の状況を身をもって感じ取ることが出来たと思います。

2日目のルスツは心配していた天候も霧雨程度で済み、乗り物に乗るには支障がなく、遊具を楽しむことが出来ました。バスの中は添乗員さんのゲームで楽しませてもらいました。子どもたちにとって小学校生活最大の



思い出になったと思います。